

Q&A 集

Q1.学認に参加にあたって学内への説明のために、参考となる資料はありますか？

A1.学認公式 Web サイトに「学認参加のための学内説明用資料雛形(令和 6 年度版)」という資料を用意しております。こちらをご参考にしていただけますようお願いいたします。

<https://www.gakunin.jp/document/730>

Q2.実証実験終了後に継続して IDaaS を利用する際の参考費用を知ることができますか。

A2.学認公式 Web サイトに「学認参加のための学内説明用資料雛形(令和 6 年度版)」という資料を用意しております。この資料の p.10 に「6 IdP 構築及び保守にかかる費用 (参考)」という項目がありますので、こちらをご参考にしていただけますようお願いいたします。

なお、こちらの資料には、IDaaS だけでなく、オンプレミスに関しても記載しております。

学認参加のための学内説明用資料雛形：<https://www.gakunin.jp/document/730>

Q3.IdP を本学で導入、構築する際に、参考となる資料はありますか？

A3.学認公式 Web サイトに「学認対応 IdP サービス調達仕様案」という資料を用意しております。こちらをご参考にしていただけますようお願いいたします。

<https://www.gakunin.jp/document/731>

Q4.現在、学認に参加している機関でも実証実験に参加できますか？

A4.本実証実験は、学認への未参加機関だけではなく、参加済機関も対象としております。ただし、学認参加済の場合は、IDaaS (ID as a Service) への移行を検討しているなど、条件があります。

「学認対応 IdP ホスティングサービス実証実験 2024 参加機関募集のご案内」の「3.実証実験の実施要領及び説明会の開催」> 「●実施要領」> 「対象機関」に当てはまっているかご確認の上、ご参加くださいますようお願いいたします。

<https://www.gakunin.jp/node/742>

なお、提供機関選定においては、学認未参加機関を優先させていただく場合があります。

予めご了承くださいますようお願いいたします。

Q5.本学は、ユーザ数が1万以上になりますが、実証実験に参加することはできますでしょうか。

A5.本実証実験では、総ユーザ数が決まっておりますため、ヒアリングにて状況をお聞かせいただきつつ、登録可能なユーザ数を決定させていただきます。

ただし、他参加機関のユーザ数との兼ね合いもありますので、教職員のみや学生のみなど利用ユーザを限定させていただく場合がございますこと、ご了承くださいますようお願いいたします。

Q6. 今後、オープンアクセスを担当する図書館職員などが JAIRO Cloud の利用の際に学認への参加が必要になるのでしょうか？

A6. 現在の JAIRO Cloud におきましては、GakuNin RDM と JAIRO Cloud の連携におきまして学認の利用を想定して開発が進められております。詳細につきましては、以下のサイトに「(図書館職員向け) 即時 OA (オープンアクセス) を支える認証について」として、必要事項をまとめております。こちらをご参考にしていただけますようお願いいたします。

(図書館職員向け) 即時 OA (オープンアクセス) を支える認証について:

<https://www.gakunin.jp/fed/732>